

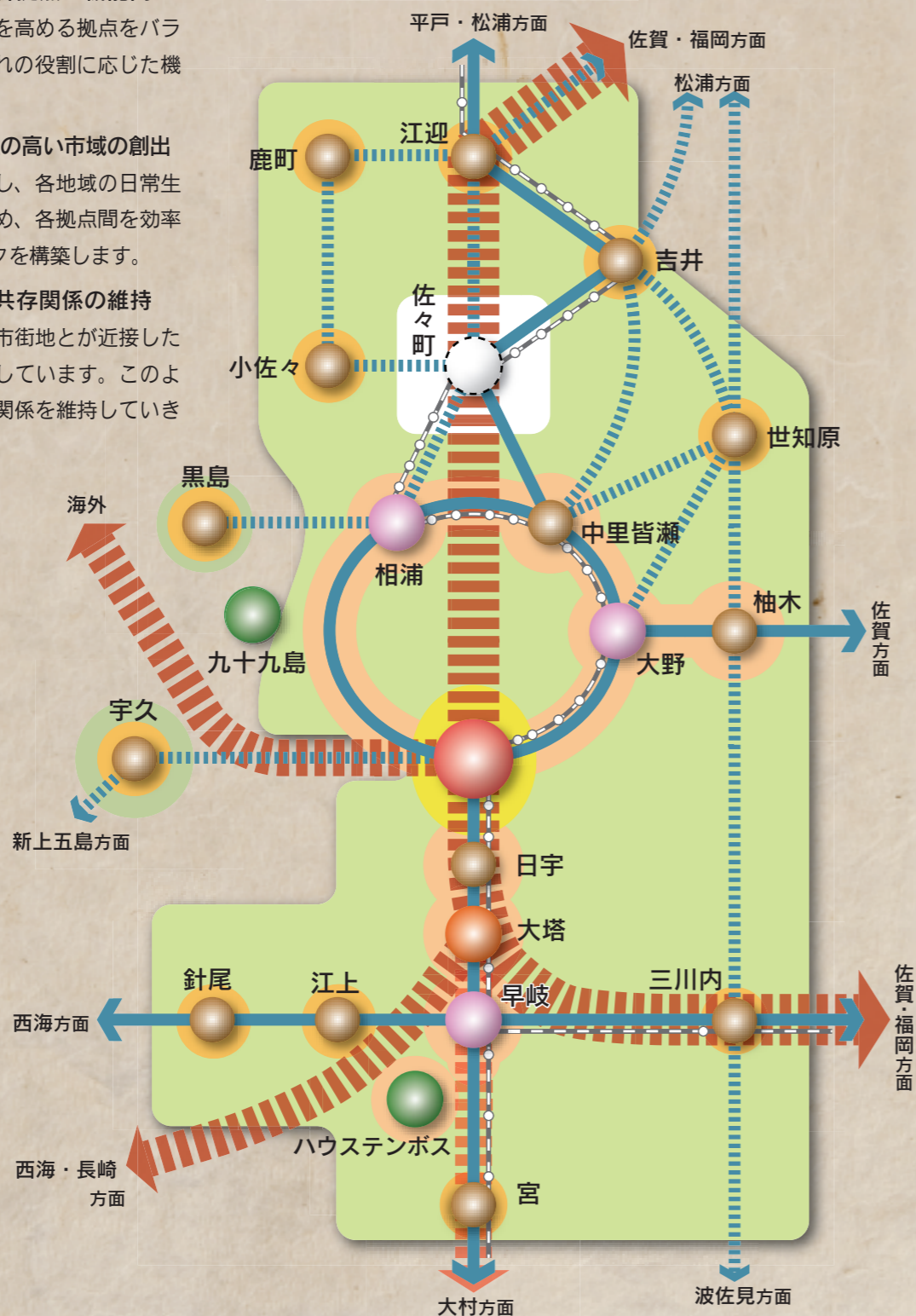
機能連携・調和型 のまちづくり

本市が目指すのは、中心市街地へ都市機能を集約しながら、周辺地域の生活拠点においても必要な都市機能を強化し、各地域の連携によって市全体の活力や魅力を高める「機能連携・調和型のまちづくり」。豊かな自然環境を守りながら、活気にぎわいのあるまちづくりを進めていきます。

まちづくりの基本的な考え方

- ① 効果的な拠点の配置と各拠点の機能向上
都市や地域の活力と魅力を高める拠点をバランスよく配置し、それぞれの役割に応じた機能の向上を図ります。
- ② 各地域が連携した一体性の高い市域の創出
都市全体の一体性を醸成し、各地域の日常生活サービスを補完するため、各拠点間を効率的に結ぶ交通ネットワークを構築します。
- ③ 自然環境と市街地との共存関係の維持
本市は豊かな自然環境と市街地とが近接した特色ある都市空間を形成しています。このような自然と市街地の共存関係を維持していきます。

多くの拠点が連携! 今後20年間の佐世保の姿



- 拠点
 - 都市核
 - 地域核
 - 生活核
 - 商業・物流核
 - 観光・リゾート核
- 都市軸
 - ▬ 広域骨格軸
 - ▬ 主要都市軸
 - ▬ 地域連携軸
- ゾーン
 - 都市核ゾーン
 - 市街地ゾーン
 - 集落地ゾーン
 - 自然環境共生ゾーン

都市づくり・地域づくり 将来像と基本方針

本市の新しい都市づくり・地域づくりの将来像は「市民の輝きを支え続ける舞台づくり」。さまざまな課題に対応し、「拠点都市としての活力と快適な生活を維持・向上する都市づくり」「市民とともに地域の個性を伸ばし、住み続けることができる地域づくり」に取り組みます。

都市づくりの課題

- 佐世保市が担うべき拠点都市としての役割への対応
- 都市のにぎわいや活力低下への対応
- 高齢社会の進展への対応
- 持続可能な都市経営への対応
- 地球規模で進む環境問題などへの対応
- 自然環境との共存を基本とした適正な土地利用への誘導

地域づくりの課題

- それぞれの地域特性に応じた対応
- 地域コミュニティの維持への対応
- 地域が主体となった協働によるまちづくり

都市・地域づくりの将来像

市民の輝きを
支え続ける舞台づくり
～地域の元気によって輝く都市～



拠点都市としての活力と
快適な生活を維持・向上する
「都市づくり」

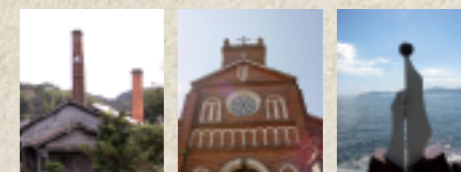
基本方針

- 九州北西部の拠点として、活力ある産業・観光により、にぎわいのある都市をつくる
- 子どもから高齢者まで誰もが安全で快適に暮らせる都市をつくる
- 既存の都市基盤を有効活用し、環境にやさしい持続可能な都市をつくる
- 特色ある自然や景観を守り、生かした、佐世保らしい都市をつくる

市民とともに地域の個性を
伸ばし、住み続けることができ
る「地域づくり」

基本方針

- 身近な地域コミュニティの中で支え合い、住み続けることができる地域をつくる
- 地域資源を守り、生かし、住民との協働により愛着のある地域をつくる



写真(左から) 三川内地域の煙突群、黒島天主堂、小佐々地域の日本本土最西端の地